

2023 年度会員総会議事概要

日時：2023 年 10 月 27 日（金） 15:00～16:00

場所：宇部市文化会館 3F 文化ホール

議事：

報告事項

1. 会務報告

海野庶務幹事から 2023 年度の会員異動について報告された。

2. 会計報告

禾会計幹事から 2022 年度決算、2023 年度予算執行状況および 2024 年度予算案について報告された。

3. 行事報告

橋爪行事幹事の代理で海野庶務幹事から、対称性講座および CrSJ Keynote の開催状況と予定が報告された。また、今年会での企画と、2024 年度年会（名古屋大学）の準備状況について報告された。2025 年度は AsCA を台湾と共催することになっており、年会は開催されない旨、紹介があった。

4. その他の幹事報告

杉本広報幹事から会員へのメール定期配信と会員からの依頼によるメール配信の実績について報告があった。メール未達の会員が一定数いることが問題であることが周知された。中塚編集幹事から会誌の発行状況、山田情報幹事から学会ホームページ内のコンテンツの更新状況について報告があった。これについてはそのデータをどのように活用するのか、会員から質問と会員増に活用するべく提案があった。また、濱田男女共同参画推進幹事から男女共同参画学協会連絡会への参加状況等の活動について報告された。さらに、海野庶務幹事から次期評議員候補の推薦投票の結果について報告と WEB 本選挙の告知があった。

5. AsCA 関連報告

小松 AsCA 評議員から AsCA2024 の WEB ページの紹介と重要な日程についての説明があった。また、2025 年の AsCA が台湾-日本共催で行われることが報告された。

6. 日本学術会議関連報告

第 25 期 IUCr 分科会高田委員長から、第 26 期 IUCr 分科会メンバー、IUCr2023 の参加者数などの報告とともに、General Assembly で理事（2023～2029 年）に中川現日本結晶学会会長が選ばれたこと、および、次期以降の IUCr 開催地などが報告された。

第 25 期結晶学分科会菅原委員長から、第 26 期結晶学分科会の発足が 11 月末の予定であること、および第 25 期に IYBSSD2022/23（持続可能な発展のための国際基礎科学年）関連のシンポジウムが開催され、記録作成が行われたことが報告された。また、学術会議の動向にかかわり、第 25 期の会長メッセージや「日本学術会議の在り方に関する有識者懇談会」に関する情報が報告された。

7. その他

海野庶務幹事から 2023 年度年会ポスター賞の受賞者が発表された。本年度の受賞者は、林

美吹会員（筑波大数理）、平岡和樹会員（東北大院工）、住川舜会員（兵庫県大院理）、宇田敬志朗会員（九大院生資環）、上中みどり会員（阪大蛋白研）の5名であった。なお、リガクファンドの支援のもと受賞者へは副賞としてメダルが送られた。

引き続き、一般社団法人日本結晶学会賞受賞式が行われた。



日本結晶学会賞授賞式後の写真：左から、中川敦史会長、石川哲也会員、藤橋雅宏会員、高山裕貴会員